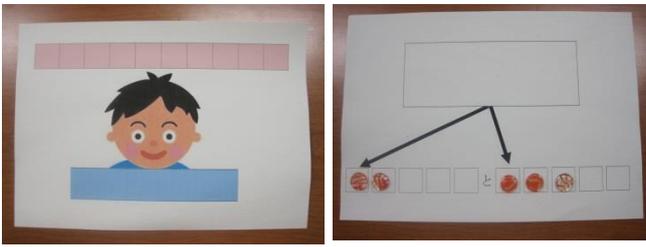


# 教材・教具の活用の実際

<p>教材・教具名</p> <p>①イラスト人形</p> <p>②ワークシート</p>	
<p>活用できる教科・領域等</p> <p>・数学</p>	
<p>教材・教具の紹介(特徴)</p> <p>①イラスト人形 口から物を入れられるような形状になっている。生徒でも取り出しも簡単にできる。</p> <p>②ワークシート 机上でホワイトボードを見ながら、おはじきを使って操作する。</p> <p>※さくらんぼ算プリント (実態に応じて数字が違うものを用意。今回は20の分解までのプリントを用意した。)</p> <p>※数の分解用のワークシート</p>	<p>活用事例</p> <p>① 文章問題に合わせて「何が何個あるか」「食べてなくなったのは何個か」をイラスト人形を使って操作することで視覚的に文章問題の意味と計算式の理解を促すようにする。</p> <p>② 赤枠に「もとあった数」を並べ、「食べた数」を赤枠から青枠に移動させることで、赤枠にのこった数を数え「のこりの数」を確認できるようにする。イラスト人形の動きを見ながら一緒に確認する。</p> <p>※さくらんぼ算用のワークシートは数字と数の一致を促しながら、何が「何個と何個になったか」を指さして数えながら確認する。</p> <p>作成の手順</p> <p>①イラストを拡大コピーし画用紙に貼り付ける。裏面にも画用紙を貼って二重にして口の部分をくりぬく。胴体部分にクリアファイルを付けてテープで固定する。裏にマグネット板を数カ所つける。</p> <p>②イラストをコピーし貼り付ける。もとの数のおはじきを置く場所に赤、食べてしまった数のおはじきを置く場所に青の色をつける。</p> <p>※さくらんぼ算のワークシートは、もとの数を置くスペースを大きくとるようにした。</p>
<p>備考</p> <p>・材料 コピー用紙 イラスト(拡大したもの) ラミネートフィルム マグネット板 色画用紙 クリアファイル</p>	